

Inspire<sup>®</sup>X  
2018.0

## ハイライト調整ガイド



Hearing Is Our Concern™

# 目次

- Inspire Online (英語) . . . . . 3
- 補聴器擬似フィッティング . . . . . 4
- 接続開始 (補聴器の接続) . . . . . 5
- オートパス . . . . . 6
- クイックフィット . . . . . 7
- ファインチューニング (テーブル表示) . . . . . 8
- ファインチューニング (スライダー表示) . . . . . 9
- ユーザーコントロール . . . . . 10
- ユーザーコントロール (VCレンジとステップサイズ) . 11
- 経験管理 . . . . . 12
- フィードバックキャンセラー . . . . . 13
- 周波数変換 . . . . . 14
- 環境管理 . . . . . 15
- 環境管理 (詳細) . . . . . 16
- 耳鳴治療音 . . . . . 17
- メモリー . . . . . 18
- マイクのオフセット . . . . . 19
- 音楽メモリー . . . . . 20
- アクセサリー . . . . . 21
- お知らせ音 . . . . . 22
- フィッティングサマリー . . . . . 23
- データログ . . . . . 24
- 上級ツール . . . . . 25
- オージオメーター . . . . . 26
- エキスパートアシスタント . . . . . 27
- 補聴器テスト . . . . . 28
- サウンドポイント . . . . . 29
- スピーチマッピング . . . . . 30
- 快適さ検証 . . . . . 31

# Inspire Online (英語)

## ハイライト

1. ソフトウェアの更新情報 : Acuity OS2の紹介、Inspireの新機能 など
2. カウンセリングツール
3. 最新のQuick TIPS、Ready.Set.Hear.プログラム、トレーニングコーナー

Notes

---

---

---

---

---

---

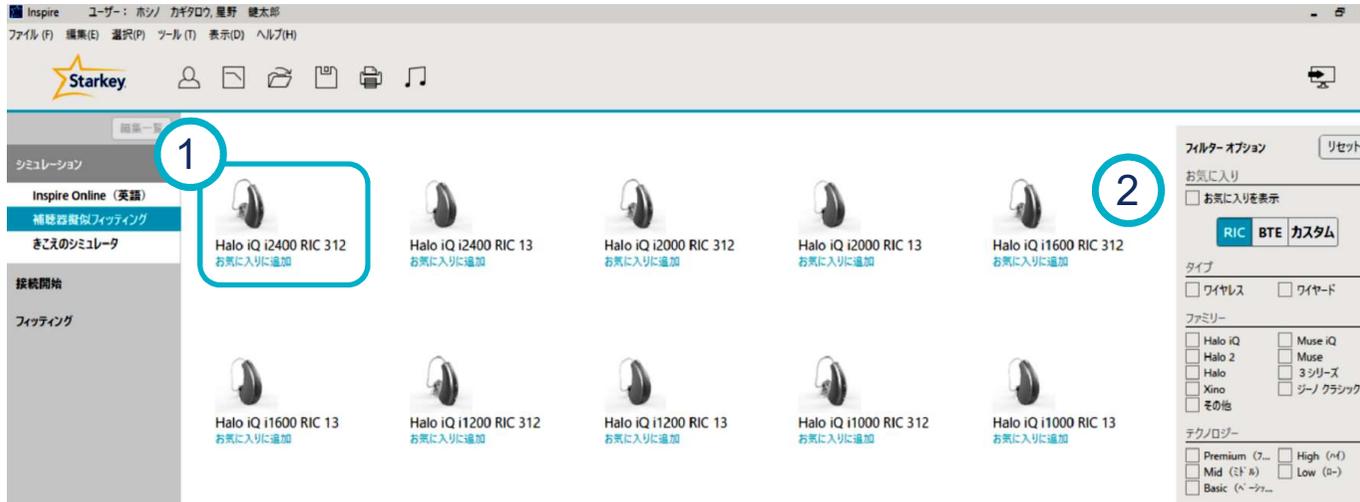
---

---

---

---

# 補聴器擬似フィッティング



## ハイライト

1. 製品選択： **擬似フィッティング**を行いたい製品を選択します。
2. フィルターオプション： **製品のタイプ**、**ファミリー**、**テクノロジーレベル**等が記載されています。
3. 擬似： 補聴器を選択すると、**製品情報**と**搭載機能**の詳細が表示されます。

※ ユーザーのオーディオグラムが入力されていない場合、  
オーディオグラムに予測値 (40 dB HL @ 500 ~ 4K HZ)が入力されます。

Notes

---

---

---

---

---

---

---

---

# 接続開始（補聴器の接続）



## ハイライト

1. プログラム装置の接続：自動的に**プログラム装置**が表示されます。
2. 補聴器情報：**調整する補聴器**にチェックを入れます。
3. プログラム装置表示：検出された**プログラム装置を表示**します。
4. 補聴器の読み込み：**補聴器の読み込み**(新規セッションを行う場合)または **履歴の読み出し**(過去の調整履歴を開く場合)を選択します。
5. 開始：クリックしてフィッティング画面に進みます。

Notes

# オートパス (初期フィット)



※初期フィット終了後、ユーザーコントロールの設定ができます。

Notes

## ハイライト

- 音響オプション画面が立ち上がり、**レシーバマトリックス**と**ベントサイズ**が自動的に読み込まれます。ここでの情報がオートパスに反映されます。
- 装用経験を選択：**未経験者**、**Starkeyユーザー**、**他メーカーユーザー**、**パワーフィット**
- オートパスの設定：スキップする項目がある場合はチェックを外して下さい。
- オートパスを開始：**開始**をクリックします。
- オートパス操作の結果が表示されます。

# クイックフィット



ベストフィット ▶

特性(波形) + 特徴(機能)
現在のメモリーのみベストフィット
全てのメモリーをベストフィット
特性(波形)のみ
現在のメモリーのみターゲットマッチ
全てのメモリーをターゲットマッチ

4

こもり感 低周波数 ゲイン(全体) 高周波数 最大出力

5

クイックフィット ファインチューニング

## ハイライト

1. 最大出力 (破線)、周波数特性 (青 : 50dB SPL入力 緑 : 65dB SPL入力 黒 : 80dB SPL入力)
2. **ベストフィット (自動調整)**
3. 選択可能な **メモリー** オプション ※デフォルトは「ワンウェイ・メモリーのリンク」が設定されています
4. 調整 コントロール
5. **ファインチューニング** 画面へのショートカットボタン

Notes

---



---



---



---



---



---

# ファインチューニング (テーブル表示)

⑤

+ 低		+ 中		+ 高		+ 超高域		① + 展開	+ 低		+ 中		+ 高		+ 超高域	
150 - 500	750 - 1.1K	1.4K - 2K	2.3K - 3K	3.3K - 3.9K	4.2K - 5.2K	5.6K - 6.9K	7.5K - 9.4K	すべて	150 - 500	750 - 1.1K	1.4K - 2K	2.3K - 3K	3.3K - 3.9K	4.2K - 5.2K	5.6K - 6.9K	7.5K - 9.4K
-3	4	4	8	8	4	-8	-10	ラウド	-3	4	4	8	8	4	-8	-10
-3	6	8	16	14	10	-4	-10	中程度	-3	6	8	16	14	10	-4	-10
-3	9	13	20	19	12	-1	-9	ソフト	-3	9	13	20	19	12	-1	-9
94	107	116	119	119	111	103	96	MPO	94	107	116	119	119	111	103	96

② テーブル表示 / スライダー表示

③ クイックフィット / ファインチューニング

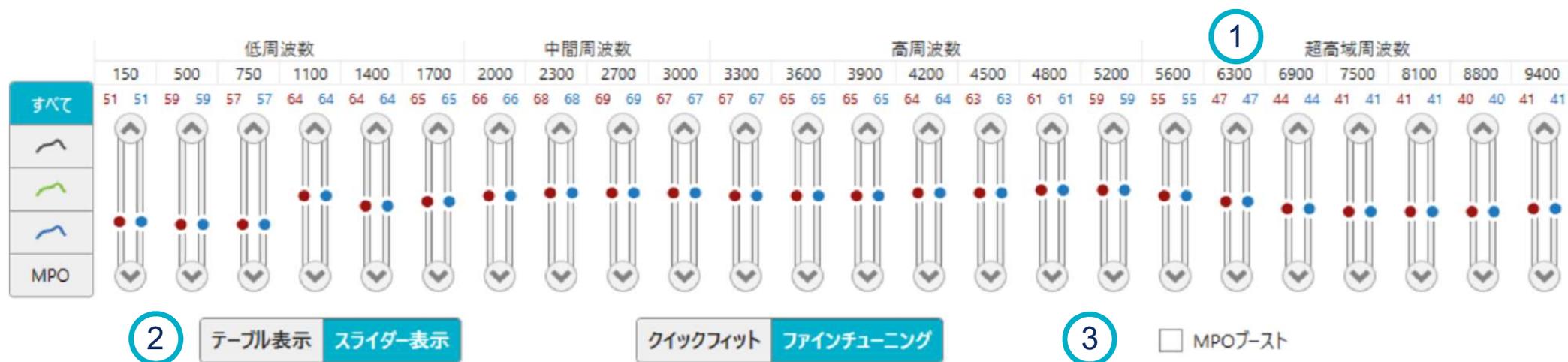
④ MPO / 圧縮比率

## ハイライト

- より高い周波数レンジ : **超高域**
- 2種類のフィッティング画面 : **テーブル表示 / スライダー表示**
- 2種類の表示画面 : **クイックフィット / ファインチューニング**
- 2種類の数値表示 : **MPO(最大出力) / 圧縮比率(CR)**
- 左側ナビゲーションメニューの表示・非表示
- 展開 : 表示する周波数レンジを拡大し、**すべてのチャンネルを表示します。**

Notes

# ファインチューニング (スライダー表示)

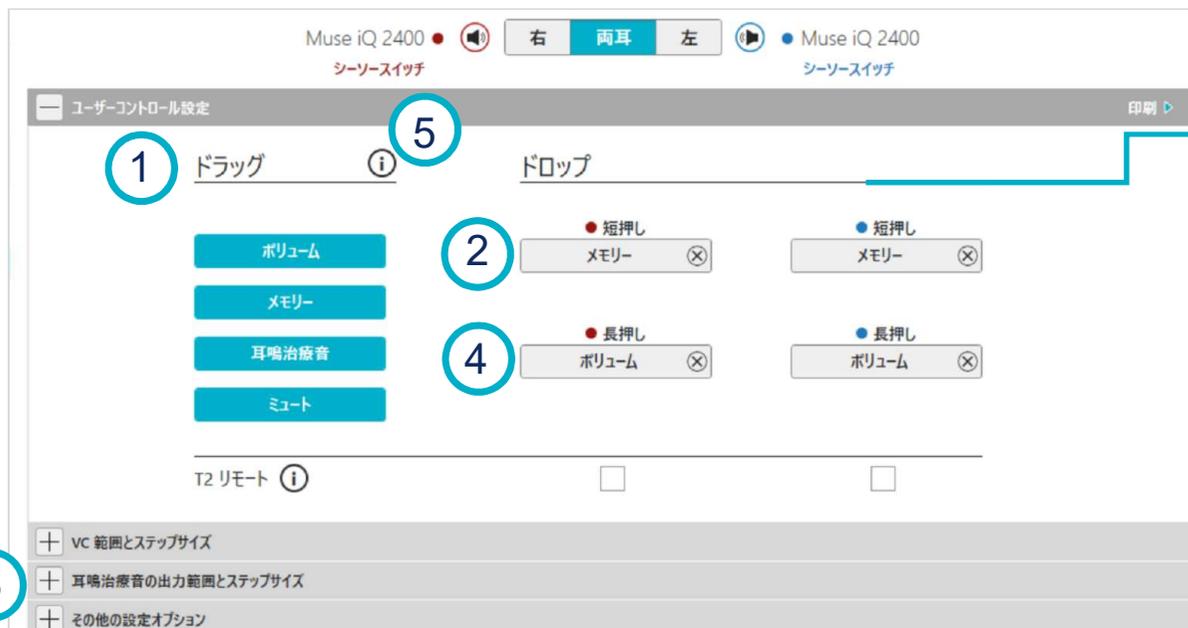


Notes

## ハイライト

1. より高い周波数レンジ : **超高域**
2. 2種類のフィッティング画面 : **テーブル表示 / スライダー表示**
3. MPO ブースト (スライダー表示のみ) : **高度～重度難聴用のエクストラ出力の提供**

# ユーザーコントロール



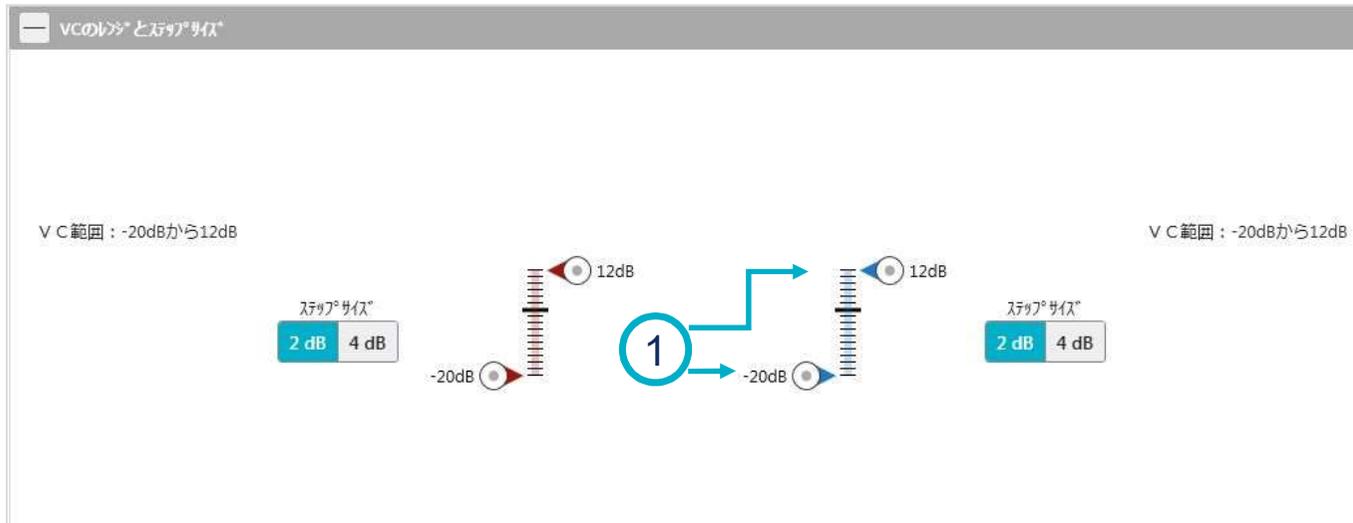
※対象項目をクリックした後に該当箇所を再クリックして設定することもできます。

Notes

## ハイライト

1. ユーザーコントロール設定：ドラッグ・ドロップ
2. 短押し：**メモリー、ボリューム、耳鳴治療音（ボリューム）**
3. ボリューム設定の選択：**右 UP / 左 DOWN、短押しUP / 長押しDOWN、スプリングラー**
4. 長押し：**ボリューム、メモリー、ミュート、耳鳴治療音（ボリューム）**
5. インフォメーションアイコン
6. すべてのユーザーコントロールオプション表示の展開

# ユーザーコントロール (VCLレンジとステップサイズ)



Notes

## ハイライト

1. ボリュームコントロールの範囲設定
  - \* (上限、下限、ステップサイズ)

---

---

---

---

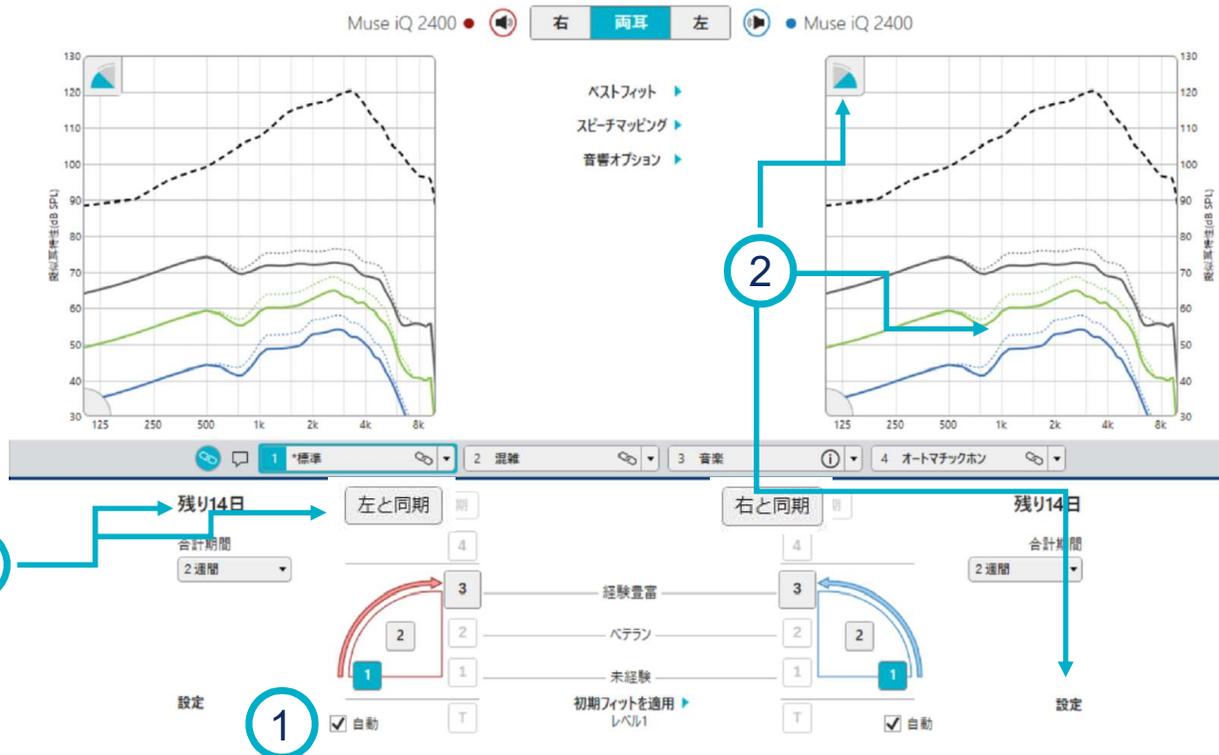
---

---

---

---

# 経験管理



- 経験レベル : IG
- 4. パワー用 : 110%
  - 3. 経験豊富 : 100%
  - 2. ベテラン : 85%
  - 1. 未経験 : 75%

※ 1日 = 10時間

Notes

## ハイライト

1. 自動経験管理の有効
2. ステータスの表示 : アイコン、カーブ、ステータス
3. 両耳間同期ステータス : 残存日数、右または左と同期

# フィードバックキャンセラー

Muse iQ 2400 ● ● 右 両耳 左 ● ● Muse iQ 2400

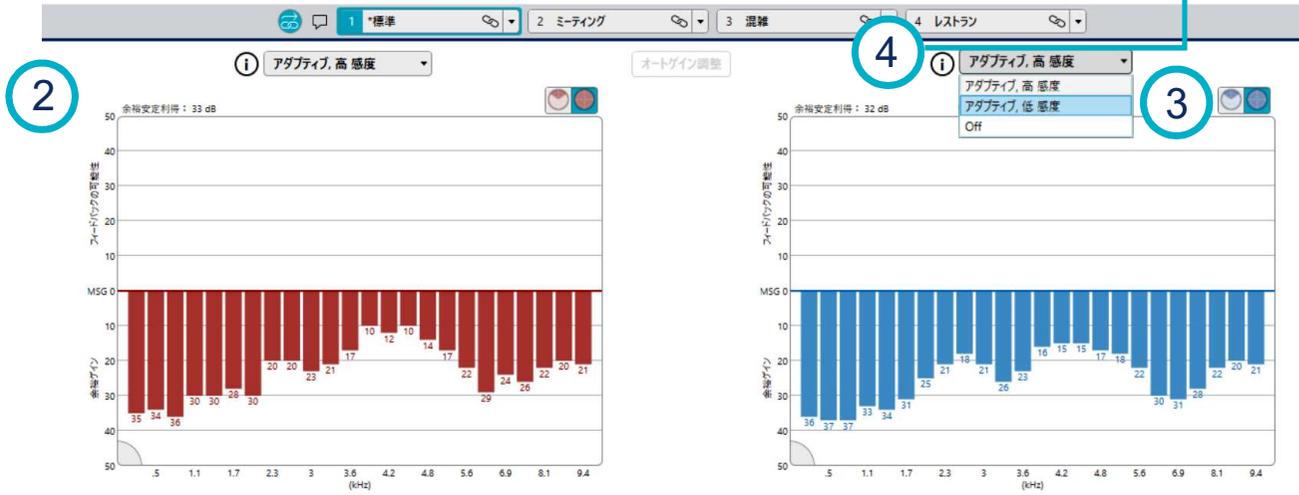
## 初期化

フィードバックキャンセラーの初期化が完了しました。もしフィードバックが発生したら、ゲイン出力の調整もしくはシミュレーションの修正を検討してください。

## 初期化状況

● 完了：余裕ゲイン測定

開始



情報

アダプティブ 高感度：適応速度MAX（初期設定）

アダプティブ 低感度：高感度設定が人工音っぽく不快な場合の遅めの適応速度

固定：固定モードはフィードバックをアダプティブに変更しません。アダプティブの設定が人工音っぽく不快な場合、低感度設定を使用してください（特に音楽を聴く場合）。  
注：フィードバックキャンセラーを固定に設定する場合は初期化を実行してください。ダイナミックまたはアダプティブ指向性に設定されたメモリーでは、固定モードは無効になります。

Off：フィードバックキャンセレーション無し

OK

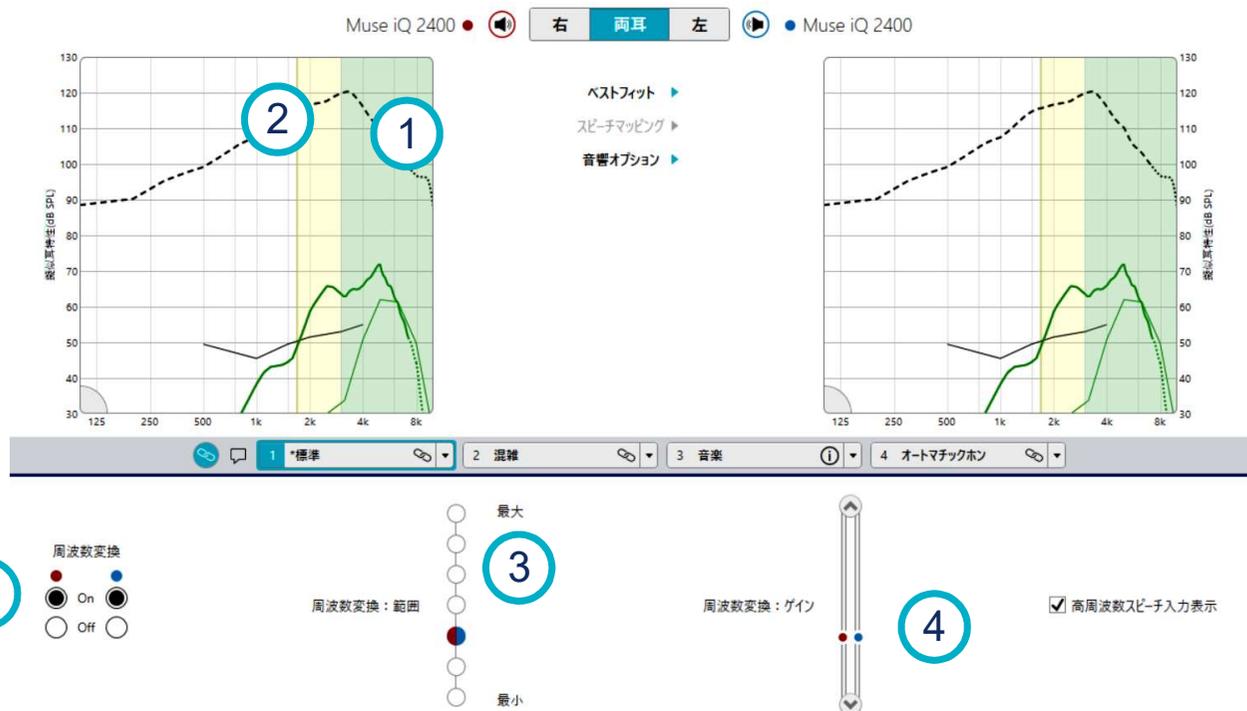
※音質に違和感がある場合は低感度を試してみてください。音楽の音質向上には、低感度がお勧めです。低感度に変えても、余裕ゲインに影響はしません。

Notes

## ハイライト

1. 初期化状況ステータス：初期化状況の表示
2. 余裕安定利得：ハウリングせずにゲインを増幅できる範囲
3. 感度設定：アダプティブ高感度、アダプティブ低感度、固定、Off
4. 感度設定のインフォメーションアイコンをクリックすると設定に関する説明が表示されます。

# 周波数変換



※聴力によって自動的に有効になる場合があります。  
聴力によってターゲット領域の範囲も変わります。  
機能有効時、6kHzまでの出力が維持されます。

※アキュイティイマージョン機能とは併用できません。  
(Muse iQ IIC/CIC適応器種、オトレンズシナジーiQ)

## ハイライト

1. 緑色領域：コピー元の領域
2. 黄色領域：ターゲット領域
3. 周波数変換範囲のコントロール：7段階
4. 周波数変換ゲインコントロール：0～+10dB
5. 周波数変換機能の有効／無効

Notes

---

---

---

---

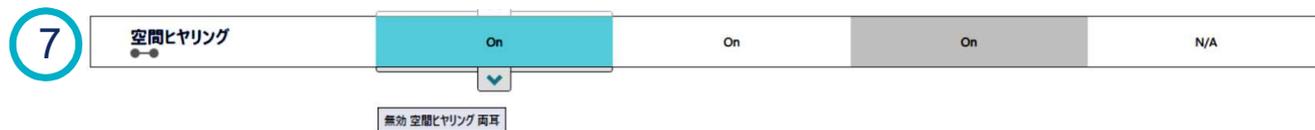
---

---

---

---

# 環境管理



環境管理

Halo iQ i2400 ● 右 両耳 左 ● Halo iQ i2400

		1	2	3	4	6
		標準	混雑	音楽	オートマッチホン オフセット (-40dB)	Stream Boost
5 詳細 快適機能	ボイス強調	3	3	Off	3	Off
	静寂	3	3	3	3	3
	風	3	3	Off	3	Off <input checked="" type="checkbox"/>
	機械騒音	3	3	Off	3	Off <input checked="" type="checkbox"/>
2 BGM強調	強さ	3	Off	N/A	Off	3 <input checked="" type="checkbox"/>
3 指向性	モード	アダプティブ	アダプティブ	無指向性	無指向性	無指向性 <input checked="" type="checkbox"/>

## ハイライト

1. **快適機能** のコントロール (旧騒音コントロール)
2. **BGM強調** のコントロール
3. **指向性** のコントロール
4. 各メモリーの設定を独立して調整します。
5. **詳細** を選択すると、各機能の調整画面へ移動します。
6. **両耳間** 連動のコントロール (Halo iQを含むHalo製品シリーズのみ)
7. **空間ヒヤリング** のコントロール (Muse iQ IIC/CIC 適応器種、オトレンズシナジー-iQのみ)

Notes

---



---



---



---



---



---



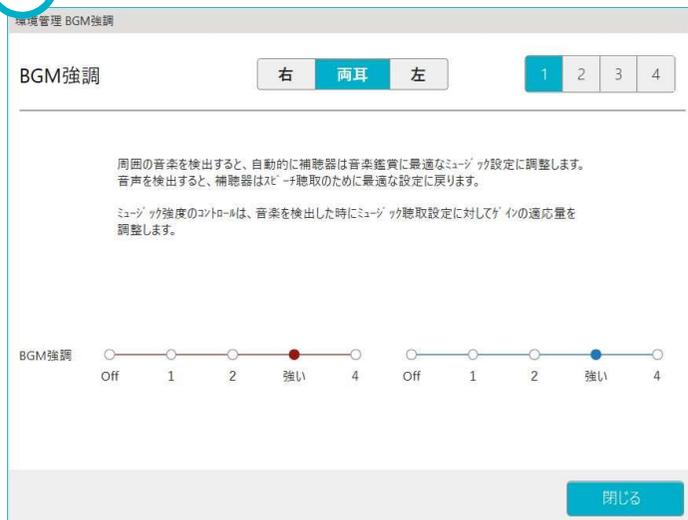
---

# 環境管理 (詳細)

1



2



3



## ハイライト

1. 快適機能コントロール : **ボイス強調、静寂、風、機械騒音**
2. BGM強調コントロール : **強さ**
3. 指向性コントロール : **指向性モード、イマージョン指向性 (iQ製品のみ)、指向性プラス、スイッチング\* (iQ製品)**

\*従来品は指向性の切換え頻度と時定数を表示

4. **快適機能コントロール**では**実行** ボタンをクリックすると、現在どの機能が作動しているかリアルタイムで確認できます。

Notes

# 耳鳴治療音

The screenshot displays the Muse iQ 2400 app interface. At the top, there are two frequency response graphs for the right and left ears, showing a purple bar chart of sound levels across various frequencies (125, 250, 500, 1k, 2k, 4k, 8k Hz). Below the graphs are three menu items: 'ベストフィット', 'スピーチマッピング', and '音響オプション'. The main control area includes a '耳鳴治療音:有効' (Tinnitus Therapy Sound: On) checkbox, a '変調率(波)' (Modulation Rate) dropdown menu, and a 'サウンドポイント TRT' (Sound Point TRT) dropdown menu. A 'ハイライト' (Highlight) section at the bottom shows a table of frequency bands and their corresponding values.

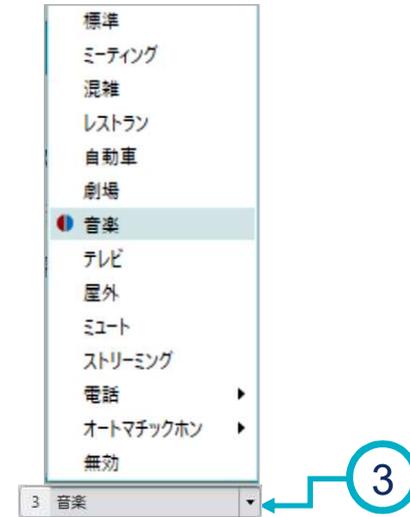
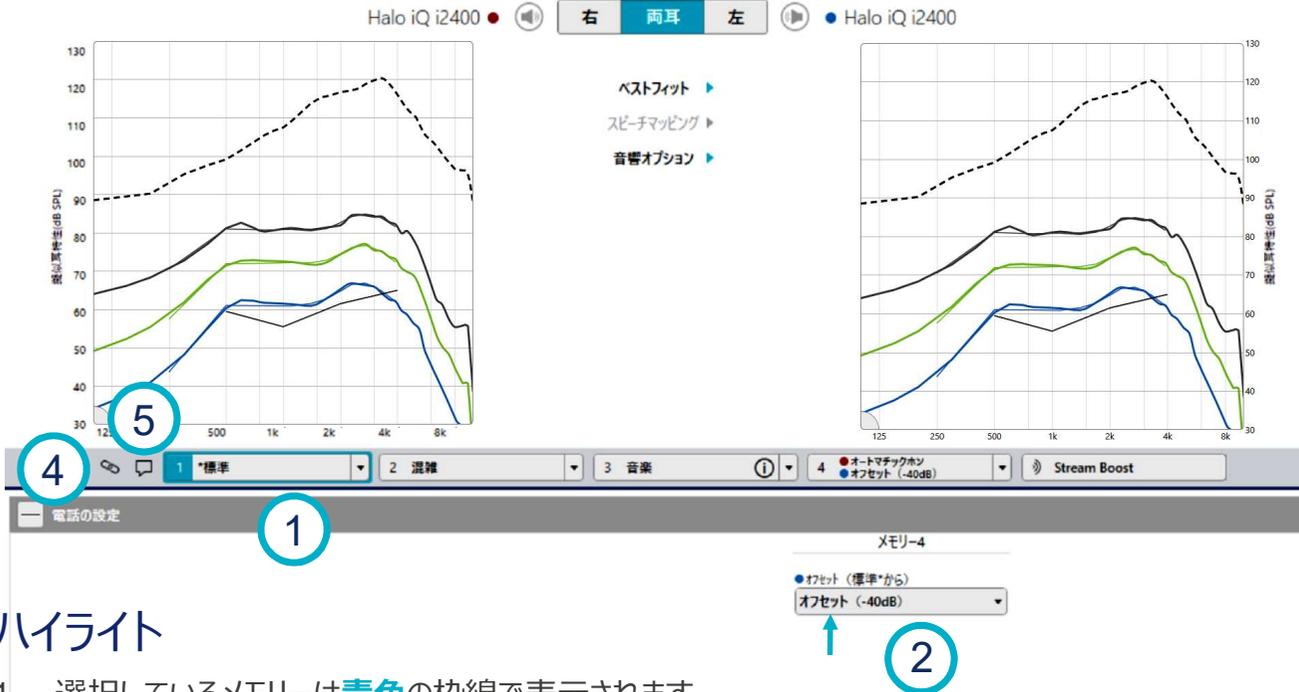
150 - 1.3K	1.9K - 3.1K	3.8K - 9.4K	すべて	150 - 1.3K	1.9K - 3.1K	3.8K - 9.4K
38	38	38		38	38	38

## ハイライト

1. 耳鳴治療音の有効：初期設定は無効
2. バンド単位での調整：16バンド (iQシリーズを含むシナジー製品上位3クラス)
3. 変調率（波）：遅い、中間、早い (初期設定はoff)
4. その他の調整：サウンドポイントTRT、耳鳴治療音のターゲットに合わせる、耳鳴治療音レベルをコピー
5. 補聴器のマイク入力の有効：耳鳴治療音のみにする場合は✓を外すだけ

Notes

# メモリー



## ハイライト

1. 選択しているメモリーは青色の枠線で表示されます。
2. 選択メモリーが電話とループオプションの設定の場合、マイクのオフセット設定が表示されます。(Halo iQ/Halo2/Halo のみ)
3. 各メモリー横の▼プルダウンをクリックし、選択したいメモリーをクリックします。
4. 必要に応じて、ワンウェイメモリーのリンク（連結）をクリックして有効・無効を設定します。（詳しくは、Quick Tip、またはInspireヘルプをご覧ください。）
5. メモリーバーのお知らせ音表示アイコンをクリックしてお知らせ音を確認することができます。

Notes

# マイクのオフセット (Halo iQ/Halo2/Halo のみ)



※オートコイル・オートマッチホンメモリーは  
いずれか 1 つしか選択できません。

Notes

## ハイライト

1. 各メモリーのマイクオフセットを設定します。
2. 追加設定オプションでは、メモリーに関する詳細の設定ができます。
3. 各メモリーの**両耳間通信機能**を設定します。

# 音楽メモリー

※確認のためにサンプルのクラシック音楽をご使用ください。

Muse iQ 2400 右 両耳 左 Muse iQ 2400

ミュージックEQ: ラウド

ミュージックEQ: ソフト

ベストフィット  
スピーチマッピング  
音響オプション

4

ミュージックEQコントロール ⓘ

すべてのHz 低音 中間 高音

クイックフィット ファインチューニング

+	低音	+	中間	+	高音	+	展開	+	低音	+	中間	+	高音
	150 - 500		750 - 3k		3.3k - 9.4k		すべて		150 - 500		750 - 3k		3.3k - 9.4k
	5		7		-1		へ ラウド		5		7		-1
	19		3		3		へ ソフト		19		14		3

クイックフィット ファインチューニング

2

ミュージックEQコントロール ⓘ

↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓

すべてのHz 低音 中間 高音

クイックフィット ファインチューニング

1

Notes

## ハイライト

- 2種類の画面表示：**クイックフィット**、**ファインチューニング**
- クイックフィットコントロール
- 3つの周波数範囲：**低音**、**中間**、**高音**
- 2つのイコライザー調整：**ラウドミュージック**、**ソフトミュージック**

# アクセサリー (Halo iQ のみ対応)

1

2

3

4

設定：リモコン

補聴器とデバイスのペアリング ⓘ

TruLinkリモートコントロール  
フィッティングセッションが終了したら、それぞれの補聴器の電池ドアを開け閉めします。リモートコントロールのロックを解除し、HOMEボタンを5秒間長押ししてください。赤と青のLEDの両方が点滅し始めたら、HOMEボタンから指を放して補聴器とペアリングさせます。

※ TruLink リモコンを使用する際は、Inspireで設定後に補聴器とのペアリングが必要になります。

Notes

## ハイライト

1. 左側ナビゲーションメニューの**アクセサリー**を選択します。
2. 使用するアクセサリーを有効にするため、チェックボックスに✓を入れます。
3. 設定する内容を（▼）プルダウンリストから選択します。
4. インフォメーションアイコンをクリックすると補聴器とのペアリングの説明が表示されます。

# お知らせ音

※iQ製品のスピーチお知らせ音について  
詳しくはInspireヘルプをご参照ください。

1

Halo iQ i2400 ● 右 両耳 左 Halo iQ i2400

調整

すべてのお知らせ音調整

すべてのお知らせ音 >

個別にお知らせ音調整 有効 ● ●

電池交換	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	>
パワー-Onの音	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	>
メモリー/ホーム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	>
電話	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	>
ボリューム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	>
耳鳴治療音	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	>
ミュート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	>
コンフォートブースト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	>
T 2 起動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	>

すべてのお知らせ音

トーン = + - リセット

スピーチ = + - リセット

お知らせ音の言語 英語-男性

自動お知らせレベル変更有効

## ハイライト

- すべてのお知らせ音の調整：**トーン、スピーチ、お知らせ音の言語、自動お知らせレベル変更有効**
- 個別にお知らせ音を調整：**トーン、スピーチ/チャイム、音源、デモ**（補聴器、またはPCスピーカーから選択）
- ボリュームお知らせ音：**ボリューム最大/最小、ホーム、ステップ、お知らせ音スキーム（Muse iQのみ対応）**

2

電池交換

トーン + - リセット

スピーチ = + - リセット

音源 電池

電池交換 「電池」

スピーチ警告音

3

ボリューム

トーン = + - リセット

スピーチ + - リセット

有効 ● ●

最大	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	音源	1000 Hz	デモ
ホーム (基準)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1000 Hz		
ステップ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1000 Hz		
最小	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1000 Hz		

お知らせ音スキーム ⓘ

スキーム 1 スキーム 2

Notes

# フィッティングサマリー

Muse IQ 2400 RIC 312t  
製造番号171002561  
FW: 4.8.0.18

右 両耳 左

Muse IQ 2400 RIC 312t  
製造番号171002601  
FW: 4.8.0.18

	1 *標準, e-STAT	2 混雑	3 音楽	4 オートマチックホン
詳細	周波数変換	無効	無効	無効
	指向性	アダプティブ	アダプティブ	無指向性
詳細	イメージン指向性	✓	✓	N/A
	指向性プラス	無効	N/A	N/A
詳細	BGM強調	3	Off	Off
	ボイス強調	3	Off	3
詳細	風	3	Off	3
	機械騒音	3	Off	3
	静寂	3	3	3
詳細	耳鳴治療音	無効	無効	N/A

詳細 お知らせ音

	●	●
電池交換	✓	✓
パワーオンの音	✓	✓
メモリー/ホーム	✓	✓
電話	✓	✓
ボリューム	✓	✓

詳細 ステータス

フィードバックキャンセラー	▶	完了
セルフラレーニング	▶	Off
経験レベル	▶	3
T2 オンデマンド	▶	無効
パワーオン遅延	▶	短い ▾
MPOブースト	▶	Off

詳細 ユーザーコントロール

手の動き	右	左
短押し	ボリューム	ボリューム
長押し	メモリー	メモリー
T2 リモート	---	---

マルチカーブグラフ表示
データログをリセット
フィッティングコメント
印刷
保存

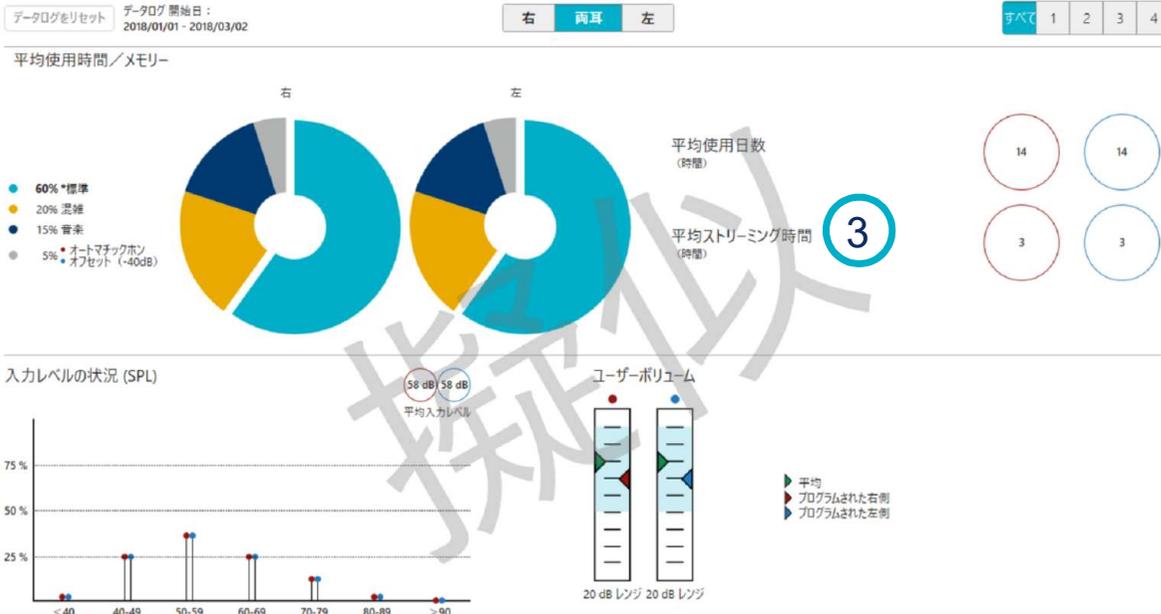
Notes

## ハイライト

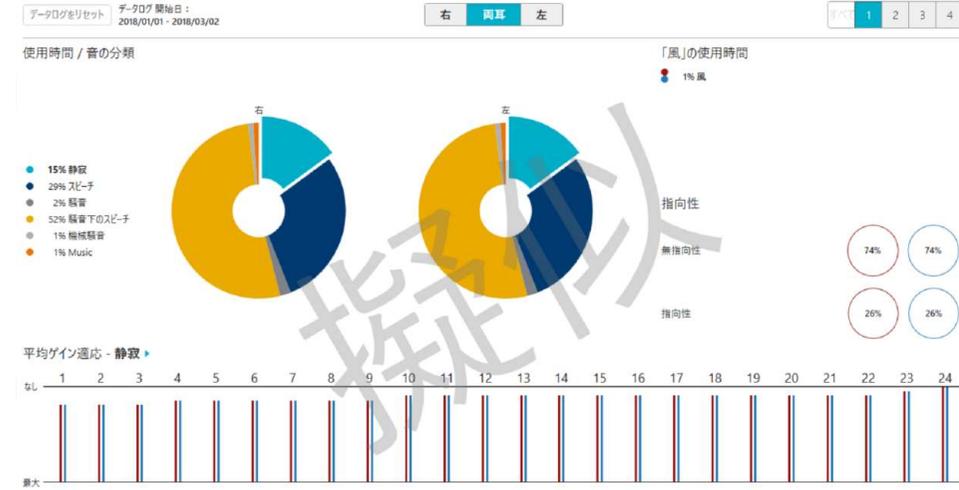
1. **詳細**を選択すると、各機能の調整画面へ移動します。

# データログ

1



2



Notes

---



---



---



---



---



---

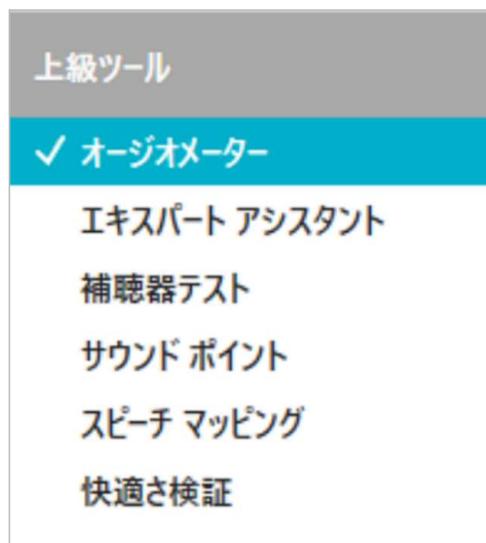


---

## ハイライト

1. データログ : サマリー表示
2. データログ : 環境アナライザー
3. データログ : 平均ストリーミング時間 (Halo iQ/Halo2/Halo のみ)

# 上級ツール



①

※ よく使うフィッティング項目の表示/非表示または順番の変更を行うには、「編集一覧」をクリックしてください。

Notes

## ハイライト

1. これらの調整は**上級ツール**から行うことができます。

---

---

---

---

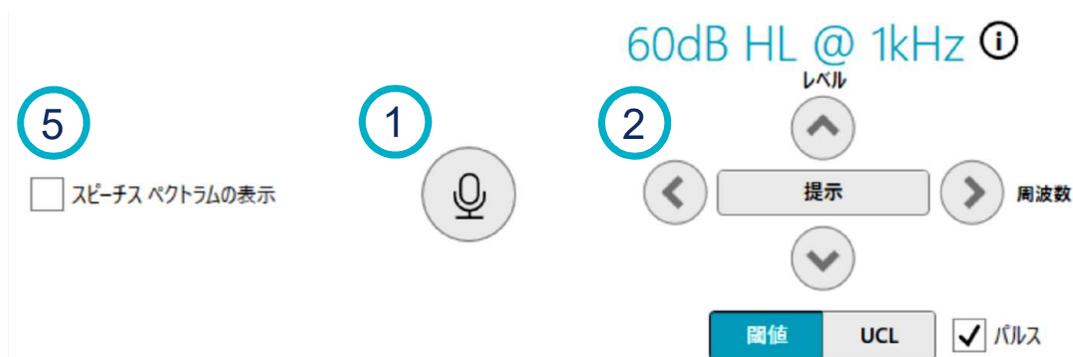
---

---

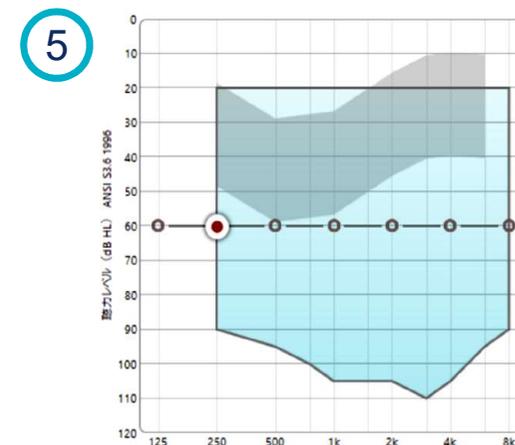
---

---

# オーディオメーター



※周波数範囲が8kHzまで拡張され、提示音圧レベルが20dBから測定できるようになりました。



※ 水色の範囲内を純音で出力することができます。オープンの場合、低域の出力ができません。

## ハイライト

1. 装用者と話す：補聴器のマイクが有効になります。
2. 測定音の提示：補聴器から測定音を提示します。周波数変更（左右の矢印）、提示音圧レベルの変更（上下の矢印）
3. ベストフィットまたは ターゲット更新：確認したオーディオグラムでベストフィットまたはターゲットの更新を行います。
4. リセット：オーディオグラムをリセットします。
5. スピーチスペクトラムをオーディオグラムに表示します。

Notes

# エキスパートアシスタント

Muse iQ 2400 ● 右 両耳 左 ● Muse iQ 2400

ベストフィット ▶  
スピーチマッピング ▶  
音響オプション ▶

1 標準 2 混雑 3 音楽 4 オートマチックホン

自動的にMedia Playerを開始

苦情選択

- ▶ /S/の音がもつれた感じ
- ▶ /S/の音が不自然
- ▶ スピーチがソフトすぎる
- ▶ 全体ゲイン: 上げる
- ▶ 中間周波数ゲイン: 上げる
- ▶ ラウドゲイン: 上げる
- ▶ スピーチが舌足らず
- ▶ スピーチが曖昧・震える
- ▶ スピーチ音がとげとげしい/耳障り
- ▶ スピーチ音が弱い、濁っている
- ▶ マブアでのスピーチがハッキリしない

調整履歴

● 全体のゲインを上げました

適用

最後の操作を元に戻す

1

2

Notes

## ハイライト

1. **苦情選択**からお勧めの調整内容を選択します。
2. **適応** または **最後のアクションを元に戻す**を選択します。

# 補聴器テスト

※調整状態を確認する場合、「ユーザーゲイン」をクリックして測定してください。

1 最大音響利得 (FOG)  
ユーザーゲイン  
規準テストゲイン

2 顧客設定に戻る

環境管理 - エクスクルーシブ

静寂 3      ボイス強調 3      Music 3

指向性 アダプテ...      フィードバックキャンセラー アダプテ...      風 3

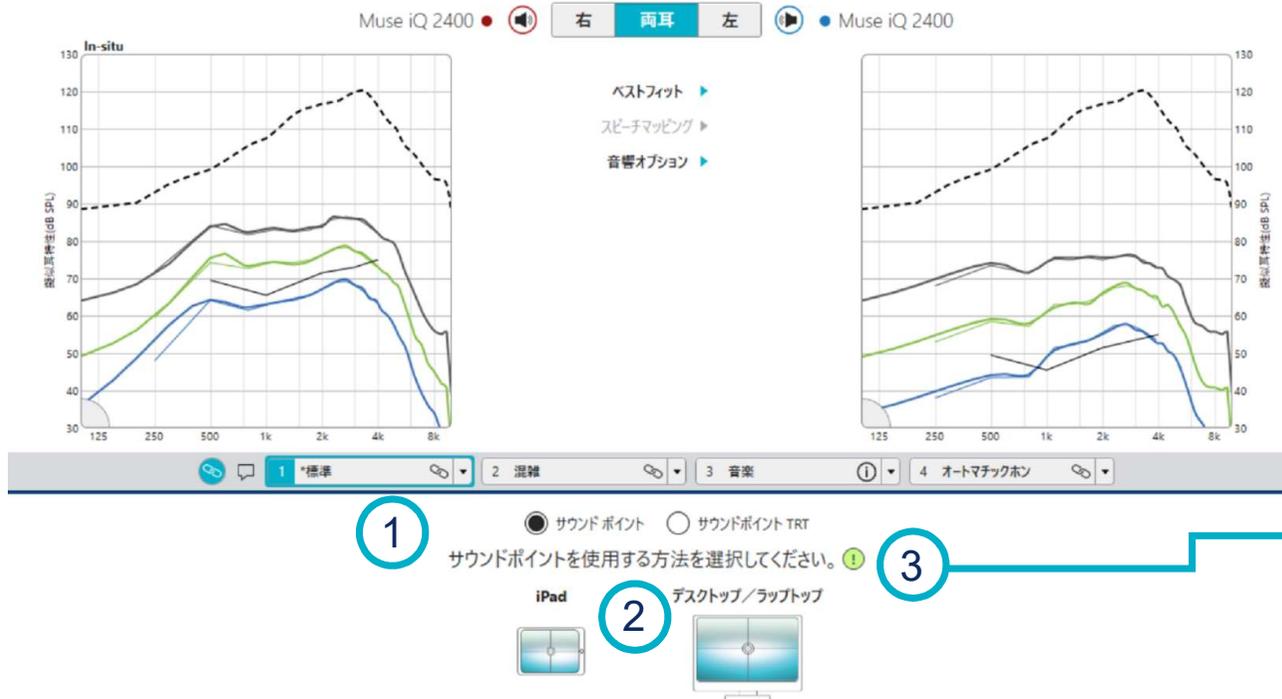
機械騒音 3      周波数変換 Off

Notes

## ハイライト

- 測定するテストに応じて、**最大音響利得 (FOG)**、**ユーザーゲイン**、または**規準テストゲイン**を選択します。
- テストが終了しましたら、**顧客設定に戻る**を選択します。

# サウンドポイント



**サウンドポイント**

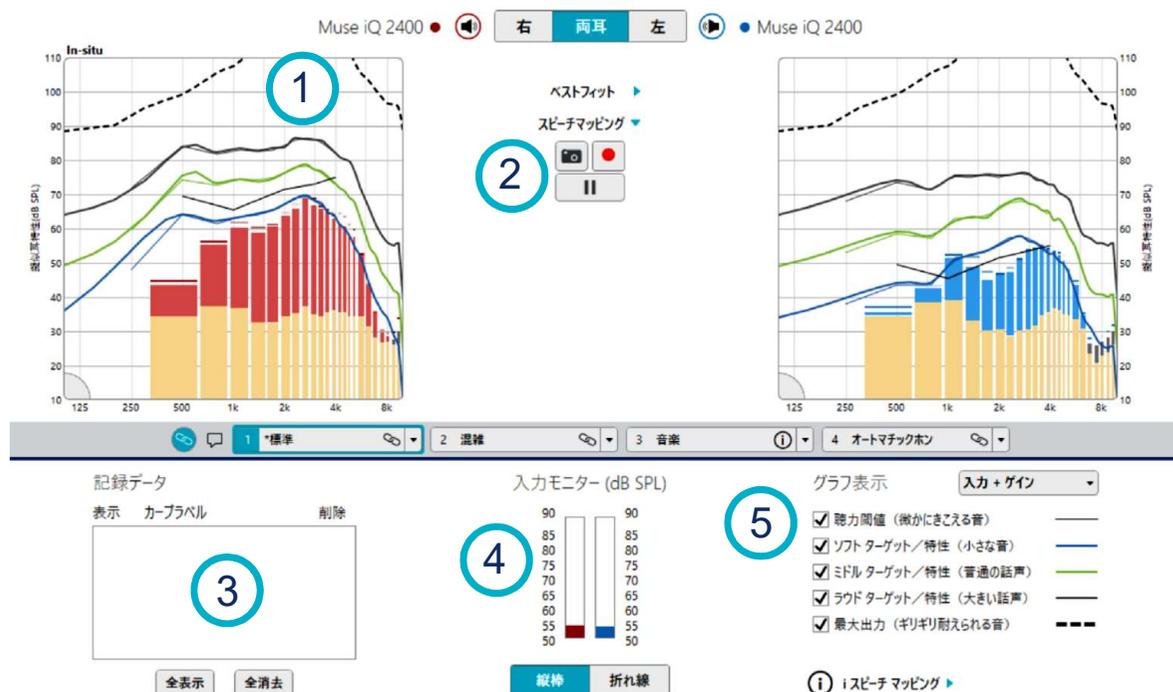
- ⚠️ 動作しているメモリが連結されました。  
Inspireはサウンドポイントが動作している間、すべてのメモリの連結を解除します。
- ⚠️ 非対称の耳が検出されました。  
サウンドポイントを続行すると、最適な補聴器の性能にならない場合があります

Notes

## ハイライト

1. **サウンドポイント**または**サウンドポイントTRT**を選択します。
2. **iPad**または**PC (デスクトップ / ラップトップ)** のどちらで操作するか選択します。
3. インフォメーションアイコンをクリックすると詳細情報が表示されます。
4. **音楽**を除くすべてのメモリーから調整するメモリーを選択します。

# スピーチマッピング

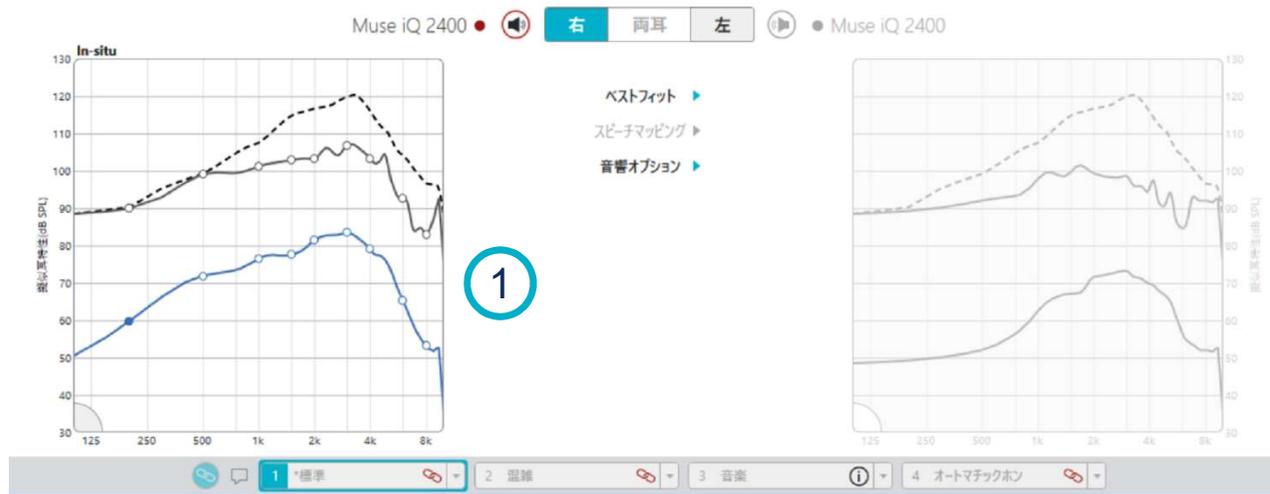


## ハイライト

1. ライブスピーチマッピング：周波数特性と記録したカーブが表示されます。
2. 記録：瞬間的な音または最大10秒間の音を記録します。
3. 記録したカーブの管理：カーブの表示または削除します。
4. 入力モニター：現在補聴器に入力されている平均入力音圧レベルを表示します。
5. リアルタイム表示オプション：グラフに表示する特性を選択します。

Notes

# 快適さ検証



2 スイープ速度

- 遅い
- 中間
- 早い

出力： ①

◀ ■ ▶

3

## ハイライト

1. ソフトとラウドの出力状況を周波数毎に純音でチェックすることができます。
2. スイープ速度を3段階に変えられます。
3. 三角矢印（◀または▶）で低周波側か高周波側にスイープさせます。

Notes

---

---

---

---

---

---

---

Hear better.  
Live better.



※ このInspire調整ガイドはハイライト版です。  
詳細情報については、Inspireヘルプをご参照ください。

[http://www.starkeyhearingtechnologies.com/inspirehelp/ja/  
#t=Inspire\\_Overview%2FInspire\\_Overview.htm](http://www.starkeyhearingtechnologies.com/inspirehelp/ja/#t=Inspire_Overview%2FInspire_Overview.htm)

[Synergy<sup>®</sup>]

INST0065-02-JJ-JP (2018/03)